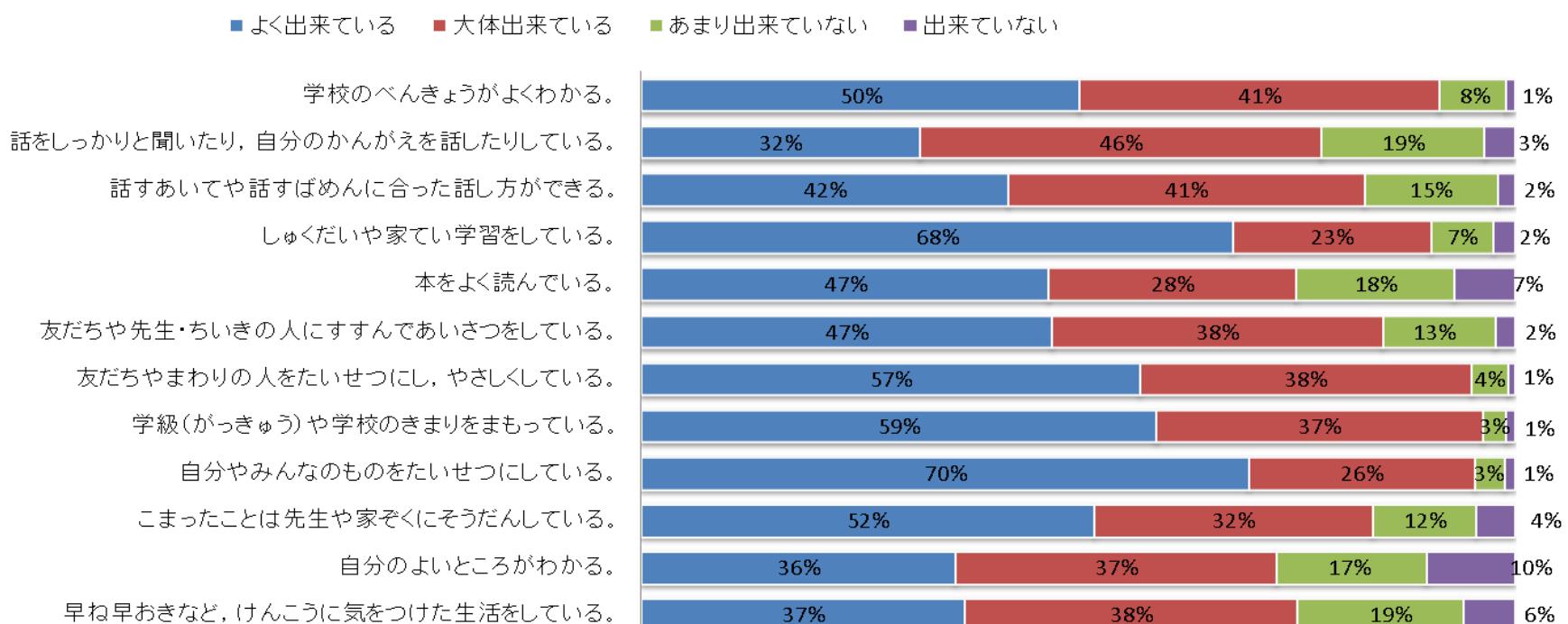


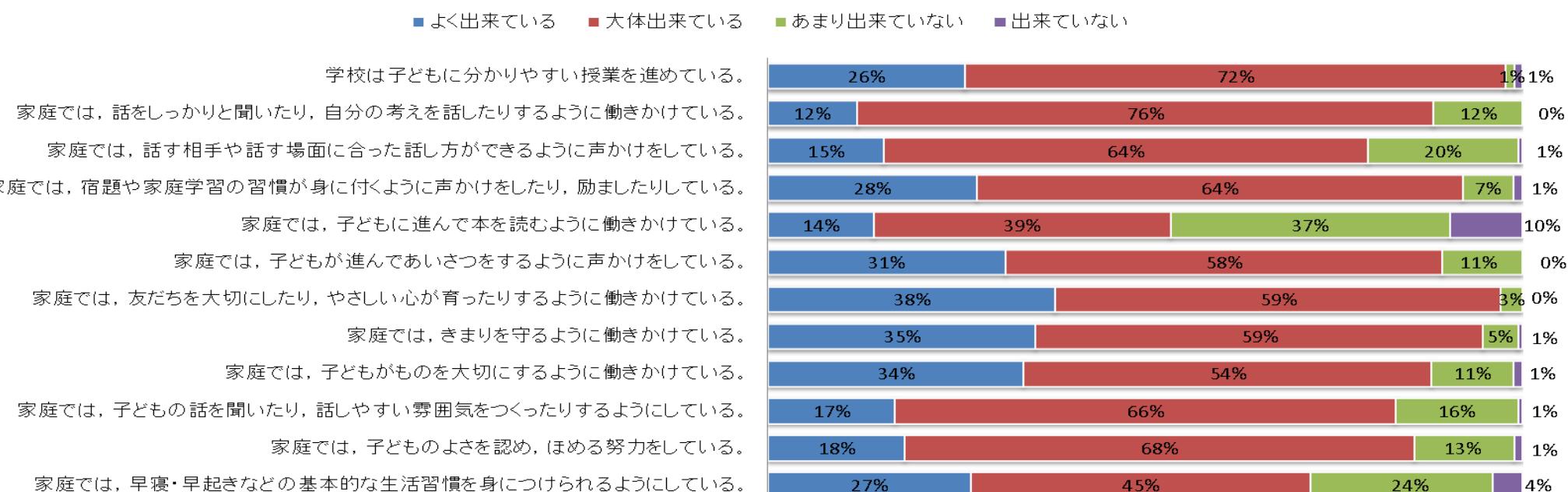


令和2年度前期の学校評価アンケートを実施するにあたり、保護者の皆様にはお忙しい中、ご協力いただきありがとうございました。児童・保護者・教職員、それぞれが現状を振り返り、自己評価を行いました。その結果をもとに、今後の朱雀第八小学校の教育活動にいかしていくため、集計・分析・考察をしましたのでご報告をいたします。

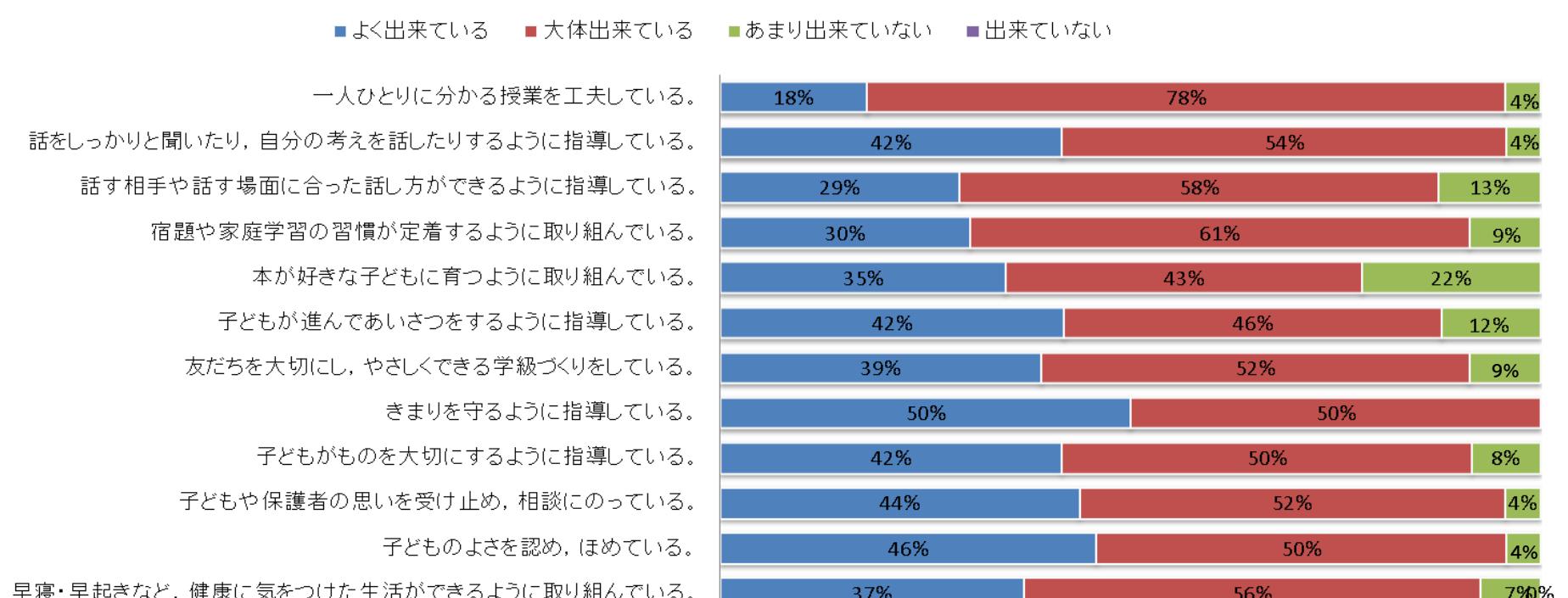
令和2年度前期 児童アンケート



令和2年度前期 保護者アンケート



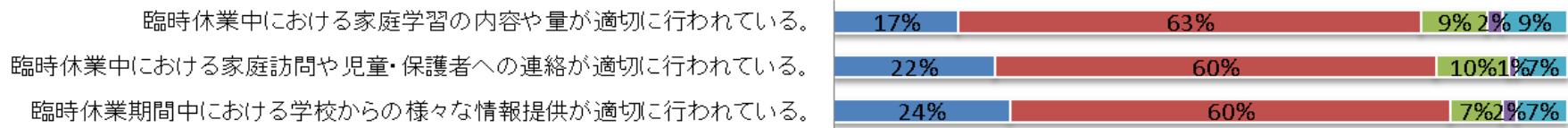
令和2年度前期 教職員アンケート



令和2年度前期 保護者アンケート

休業期間中(4月10日～5月31日)の取組について

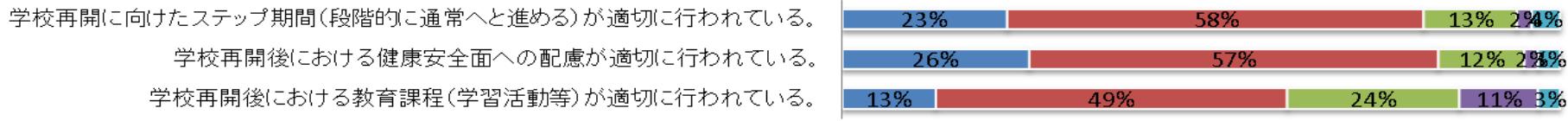
■よく出来ている ■大体出来ている ■あまり出来ていない ■出来ていない ■わからない



令和2年度前期 保護者アンケート

学校再開後(6月1日～)の取組について

■よく出来ている ■大体出来ている ■あまり出来ていない ■出来ていない ■わからない



<確かな学力について>

①「授業」に関する項目…児童の91%, 保護者の98%が学校の勉強がわかると評価しています。どの教科においても「主体的・対話的で深い学び」を進めています。学習内容の精選と授業力の向上を図り、子どもたちへの過重な負担になることがないよう、これまで以上に子どもたち一人ひとりの学びの様子をしっかりととらえて、適切な指導を重ねています。今年度も本校では研究教科を算数科をして取り組んでいます。自分たちの力でめあてを作り、学習課題に向き合い、まとめる、そして学習を振り返る中で、自分の考えや友だちの考えを出し合い、思考する力・判断する力・表現する力を伸ばしていきます。新型コロナウイルス感染症拡大防止の為、臨時休業中にはご家庭で、授業内容のフォローもたくさんいただきました。ありがとうございます。

②「話す・聞く」③場面にあった「話し方」に関する項目…児童78%, 保護者88%が出来ていると評価し、③の項目に関しては児童83%, 保護者79%が出来ていると評価しています。学校では、あまり密にならないよう、短時間に区切ってのペアトークやグループトークなども行い、話す聞く力をしっかりと身につけることができるよう進めています。ご家庭においても、話をしっかりと聞き、相手に伝わる話し方ができるよう、お声かけを引き続きお願いします。

④「家庭学習」に関する項目…91%の児童と92%保護者ができていると評価しています。保護者の皆様には、臨時休業期間の中で子どもたちへたくさんのご支援をいただきました。子どもたちの様子を見ていても一人ひとりが、自分から進んで学習に取り組む力を身につけようとしていることがうかがえます。本当にありがとうございます。家庭学習については、低学年を「家庭学習の習慣づけ」、中学年を「家庭学習の定着」、高学年を「自学自習の確立」とし、学習時間は、学年×15分が目安になります。宿題や自主学習を習慣化できるように、また、学校で学習したことを定着させ楽しく活かせるようにするためにも、ご家庭と連携・協力しながら進めています。引き続きどうぞよろしくお願いいたします。

⑤「読書」に関する項目…児童の75%, 保護者の53%が出来ていると評価しています。昨年度末の数値より大きくは変わりませんでした。子どもたちの読書活動のさらなる充実を目指していきたいと考えます。学級文庫の定期的な入替えや、図書室に行く機会を増やしていきます。また、今年度はリモートで進めていますが、読み聞かせボランティア「じゃんけんほん」の方々の読み聞かせでは子どもたちが目を輝かせ本の世界を楽しむ姿が見られています。ご家庭でも一緒に図書館へ行ったり、一緒の本を読んでみたりするなど、どうぞよろしくお願いいたします。

<豊かな心について>

⑥「あいさつ」に関する項目…「友だちや先生・地域の人に対するあいさつをする」では、保護者・児童・教職員の多くが出来ていると評価しています。大きな声でのあいさつは控えつつも、自分から進んで誰に対しても挨拶ができるように引き続き指導をしてまいります。児童会の子どもたちももっと素敵なお手本を作るために「元気なあいさつをしよう」と目標を立てて進めてくれています。ご家庭でも、地域での過ごし方(地域の方々とのかかわり)など話題にし、お子さんと話し合っていただければと思います。「おはよう」の気持ちの良いあいさつから一日をスタートさせ、進んであいさつができる子どもの育成に引き続きご協力お願いいたします。

⑦「やさしさ」⑧「きまり」⑨「ものを大切にする」に関する項目…⑦⑧⑨の項目では約9割以上の児童が出来ていると評価しています。毎月行っています、人権教育「なかまの日」の取組では、友だちへの思いやりや命の大切さを学んでいます。たてわり活動では、優しさいっぱいのかかわりがたくさん見られています。これまで以上に一人ひとりを大切にした学級、学校づくりをしっかりと進め、子どもたちを育てていきます。

⑩「相談」に関する項目…児童の84%が出来ていると評価しています。昨年度末の数値から2ポイントのプラスです。しかし依然16%の児童があまり出来ていない・出来ていないと評価しています。今後も担任と子どもたち一人ひとりがお話しする「あのねタイム」を活用することや休み時間・放課後のふれあいも充実させ、信頼関係を深めていきたいと考えます。また、担任以外の教職員も様々な場面での子どもたちとのかかわりを大切にし、信頼関係を築けるように努力していきたいと思います。

⑪「自尊感情」に関する項目…「自分のよいところがわかる」に関する回答は児童の73%が出来ていると評価しています。自尊感情は、自分を好きだという気持ち、大切に思う気持ちです。自分をありのままに受け入れて認めることができるよう、教職員は子どもたち一人ひとりのよさをしっかりと伝えていきます。自分のよさがわかり、自分を大切することから、友だちを大切にできる子どもたちを育てていきます。ご家庭と連携を大切にして進めていきます。

<健やかな体について>

⑫「基本的な生活習慣」に関する項目…「早ね早起きなど、けんこうに気をつけた生活をしている」の項目では、多くの児童と保護者が出来ていると評価しています。睡眠は、脳や身体の成長にとって重要です。学校では長期の休みが終わると生活リズム表を書き自分の生活習慣を振り返ったり、早寝・早起きの大切さを学習したりしています。ご家庭でも子どもたちと話し合って約束を決めたり、早寝・早起きをするように声をかけたりしながら、子どもたちが健やかに気を付けた生活ができるようにご協力お願いします。

*自由記述欄…様々な視点でご意見・ご要望等をいただきました。現在のよい取組を大切にしながら、子どもたちに、さらに充実した教育活動が実践できるよう、教職員一丸となって取り組んでまいります。一部になりますが、紹介をさせていただきます。

- ・先生の言葉は、子どもの心に響くので、適切にご指導をいただいているのが本当にありがとうございます。
- ・いつもありがとうございます。こんな時だからこそ、思いやる気持ちを大事にしたいものです。距離はとっても心は寄り添っていたいです。
- ・休業期間中の学習課題の量は少ないと感じた。
- ・休業期間中、できればリモートの活用も考えていただきたかった。
- ・休業中の学習がどこまで進められているのか、6月までの学習内容のフォローをしっかりとお願いしたい。